

平成20年度事後評価結果（平成21年 3月）

[研究開発課題名] **移動端末を安全に管理できるスケーラブルな次世代イントラネット端末接続管理技術の研究開発**
 [委託機関名] **株式会社サイバー・ソリューションズ**

項目	評価	総合所見
総合所見	A	<p>(技術関係)</p> <p>固定端末の接続を管理する基盤となる受託者の既存製品NetSkateKoban™を基盤として、移動端末の接続および移動環境での安全な情報利用を実現する技術を研究開発した。本研究開発により、モバイル系のネットワークの管理技術に対する研究開発は後手に回ってきていた現状の課題を解決する研究開発成果が得られている。</p> <p>受託者の既存製品を基盤とした研究開発であり、必ずしも新規性に優れる内容ではないが、移動端末管理、スケーラビリティの確保、既存技術との連携システムを実現している点は評価に値する。</p> <p>本研究開発の成果は、移動端末管理に適用可能な新たな製品開発に結びついている。また、学会発表も東北大学との連携のもとで実行されている。さらに、研究開発項目に関する標準化活動に対しても精力的に取り組んでおり、IETFにおいてRFCとして発行される予定となっている。</p> <p>国の予算で研究開発を行っている以上は、受託者が製品開発の優位性を担保するとともに、本研究開発が業界全体の活性化を促進する研究・教育を産学協調で進めていくモデルとなることを期待する。</p> <p>(事業化関係)</p> <p>本製品のビジネス展開は、受託者のGlenn 代表個人の技術力・営業力に負うところが大きいですが、同代表が世の中のレベルより6ヶ月は進んでいる製品を率先して開発することを旨とし、国内外での顧客の開拓を積極的に進めている。</p> <p>受託者の代表的製品であるNetSkateKobanは、現在までに100社以上の顧客への導入実績を有しており、その導入された分野においても、製造業26%、教育・研究機関10%、官公庁/自治体16%、通信10%とそれぞれ安定成長する分野をカバーしており、その2～3割はリピート客になっている。</p> <p>また、事業展開は受託者のみでなく地元仙台地区の財団法人宮城県情報サービス産業協会、東北テクノロジーセンター等とのパートナーと連携して進めており、その成果もあがりつつある。</p> <p>以上から、今後ますます重要になるイントラネットセキュリティ分野での事業化実績が期待でき、また地域活性化にも貢献している魅力的な事業であるので、積極的に推進することが望まれる。</p>

(注) 総合所見の公表にあたっては、企業秘密等に配慮しています。